

27. 9. 2004

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

REC'D 18 NOV 2004

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年10月21日
Date of Application:

出願番号 特願2003-361133
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP2003-361133]

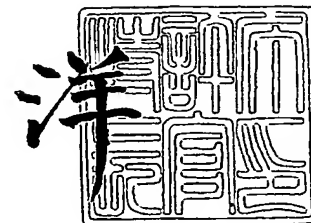
出願人 日本精機株式会社
Applicant(s):

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年11月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川



【書類名】 特許願
【整理番号】 P200310K05
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 G08G 1/00
【発明者】
 【住所又は居所】 新潟県長岡市藤橋1丁目190番地1 日本精機株式会社アール
 アンドデイセンター内
 【氏名】 永野 恵一
【発明者】
 【住所又は居所】 新潟県長岡市藤橋1丁目190番地1 日本精機株式会社アール
 アンドデイセンター内
 【氏名】 佐原 祐介
【発明者】
 【住所又は居所】 新潟県長岡市藤橋1丁目190番地1 日本精機株式会社アール
 アンドデイセンター内
 【氏名】 梅澤 幸恵
【特許出願人】
 【識別番号】 000231512
 【氏名又は名称】 日本精機株式会社
 【代表者】 永井 正二
 【電話番号】 0258-24-3311
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 014100
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

表示光を発する表示器を備え、投影部材に表示光を投影させる表示手段と、車両前方の道路の形状を示す道路形状画像と前記道路の三次元情報とを前記表示手段に表示させる制御手段と、を備えてなることを特徴とする車両用表示装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の高低差を報知する高低差指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路における左右の傾きを報知する傾斜指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の距離を示す距離指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 5】

前記距離指標は、等距離間隔を示す複数のラインを有することを特徴とする請求項 4 に記載の車両用表示装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の曲率を示す曲率指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記道路の曲率が所定の設定値以上あるいは前記設定値よりも大きい値である場合に、前記三次元情報として、前記道路が急カーブであることを報知するカーブ警告表示を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 8】

前記道路形状画像は、前記道路の幅員線を示すラインを有することを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置

【請求項 9】

前記道路形状画像は、前記道路の中央線を示すラインを有することを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記道路と重畳するように前記道路形状画像を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 11】

前記制御手段は、前記道路形状画像に対応する前記車両の位置を示す自車指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 12】

前記制御手段は、前記自車指標が警告すべき位置にある場合は、前記三次元情報として、前記前記表示手段に位置警告表示を表示させてなることを特徴とする請求項 11 に記載の車両用表示装置。

【請求項 13】

前記制御手段は、前記車両が前記車両前方の道路の形状に対して警告すべき速度で走行している場合は、前記三次元情報として、前記表示手段に速度警告表示を表示させてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【請求項 14】

前記道路形状画像及び前記三次元情報の表示形態及び表示設定を記憶する記憶部と、前記道路形状画像及び前記三次元情報の前記表示形態及び前記表示設定を切り換える操作手段と、を備えてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用表示装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】車両用表示装置

【技術分野】

【0001】

本発明は、表示光を発する表示器を備え、投影部材に表示光を投影する表示手段を有する車両用表示装置に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、車両用表示装置として、車両のフロントガラス（投影部材）に表示ユニット（表示手段）から発せられる表示光を投影して虚像を表示するヘッドアップディスプレイ装置が知られている（特許文献1参照）。前記表示ユニットは、例えば、ハウジングに、液晶表示器等からなる表示器と、この表示器が発した前記表示光を反射させる反射鏡とを収容したものであり、車両のダッシュボード内に配設されるものである。前記表示ユニットが投射する前記表示光は、前記フロントガラスにより運転者の視点に反射され、前記虚像が表示される。かかる構成によれば、前記フロントガラスに車速、エンジン回転数等の車両情報やナビゲーション情報等の各種情報を前記虚像として表示することが可能となる。

【0003】

また、前述の車両用表示装置において、車両運転者の視点から見た前方の走路形状を表す走路形状表示を表示するものが知られている（特許文献2参照）。かかる車両用表示装置によれば、運転者は、天候条件、走路のカーブ、周辺車両及び建物などの影響で、実際の前記走路形状を目視しにくい場合であっても、虚像として表示される前記走路形状表示から実際の前記走路形状を把握することができる。

【特許文献1】特開平11-310055号公報

【特許文献2】特開2000-211452号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、かかる車両用表示装置においては、運転者は、前記虚像として表示される前記走路形状表示を認識し、その形状から実際の前記走路形状を把握するものであるが、運転者は、車両の走行に応じて更新される前記走路形状表示を認識しながら表示される形状が直線であるかカーブであるか、あるいはブレーキを操作する必要がある急カーブであるか否か等の前方の道路の状況を判断しなければならず、運転者を支援する機能としては改善の余地があった。

【0005】

本発明は、上記問題点に鑑みなされたものであり、運転者が車両前方の道路の形状を把握し、前記道路の状況を瞬時に認識することが可能な車両用表示装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、前記課題を解決するため、表示光を発する表示器を備え、投影部材に表示光を投影させる表示手段と、車両前方の道路の形状を示す道路形状画像と前記道路の三次元情報とを前記表示手段に表示させる制御手段と、を備えてなることを特徴とする。

【0007】

また、前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の高低差を報知する高低差指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0008】

また、前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路における左右の傾きを報知する傾斜指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0009】

また、前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の距離を示す距離指標を前記

表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0010】

また、前記距離指標は、等距離間隔に配設される複数のラインを有することを特徴とする。

【0011】

また、前記制御手段は、前記三次元情報として、前記道路の曲率を示す曲率指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0012】

また、前記制御手段は、前記道路の曲率が所定の設定値以上あるいは前記設定値よりも大きい値である場合に、前記三次元情報として、前記道路が急カーブであることを報知するカーブ警告表示を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0013】

また、前記道路形状画像は、前記道路の幅員線を示すラインを有することを特徴とする。

【0014】

また、前記道路形状画像は、前記道路の中央線を示すラインを有することを特徴とする。

【0015】

また、前記制御手段は、前記道路と重畳するように前記道路形状画像を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0016】

また、前記制御手段は、前記道路形状画像に対応する前記車両の位置を示す自車指標を前記表示手段に表示させてなることを特徴とする。

【0017】

また、前記制御手段は、前記自車指標が警告すべき位置にある場合は、前記三次元情報として、前記表示手段に位置警告表示を表示させてなることを特徴とする。

【0018】

また、前記制御手段は、前記車両が前記車両前方の道路の形状に対して警告すべき速度で走行している場合は、前記三次元情報として、前記表示手段に速度警告表示を表示させてなることを特徴とする。

【0019】

また、前記道路形状画像及び前記三次元情報の表示形態及び表示設定を記憶する記憶部と、前記道路形状画像及び前記三次元情報の前記表示形態及び前記表示設定を切り換える操作手段と、を備えてなることを特徴とする。

【発明の効果】

【0020】

本発明は、表示光を発する表示器を備え、投影部材に表示光を投影する表示手段を有する車両用表示装置に関するものであり、運転者が車両前方の道路の形状を把握し、前記道路の状況を瞬時に認識することが可能となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0021】

以下、添付の図面に基づいて、本発明の実施の形態である車両用ヘッドアップディスプレイ装置（車両用表示装置）について説明する。

【0022】

図1及び図2において、1は表示ユニットであり、この表示手段1は車両Aのダッシュボード内に配設されている。表示手段1が投射する表示光Lはコンバイナ処理されたフロントガラスWにより運転者の視点Dの方向に反射され、虚像Vが表示される。運転者は虚像Vを風景と重畳させて観察することができる。

【0023】

2は表示器であり、この表示器2はTF T型の液晶表示素子及びバックライト手段から

なるものである。3は回路基板であり、この回路基板3に表示器2が搭載されている。4は反射鏡であり、この反射鏡4は表示器2が発した表示光LをフロントガラスWに反射させる。反射鏡4の反射面4aは凹面になっており、表示器2からの表示光Lを拡大してフロントガラスWに投射することができる。5は保持部材であり、反射鏡4は保持部材5に両面粘着テープにより接着されている。なお、表示器2は、液晶表示素子を備える構成に限定されるものではなく、例えば有機EL表示パネルを備える構成であっても良い。

【0024】

6はハウジングであり、このハウジング6には、表示器2、回路基板3、反射鏡4等が收容される。ハウジング6には表示光Lが通過する透光性カバー7が配設されている。透光性カバー7は、アクリル等の透光性樹脂からなるものであり、湾曲形状になっている。ハウジング6には遮光壁6aが設けられており、太陽光等の外光が表示器2に入射し虚像Vが見えにくくなる現象（ウォッシュアウト）を防止している。

【0025】

図3は、車両用ヘッドアップディスプレイ装置のブロック図である。車両用ヘッドアップディスプレイ装置は、速度センサ10と、GPS（Global Positioning System）電波受信部11と、記憶媒体12と、操作手段13と、制御手段14と、表示手段1とから主に構成されている。

【0026】

速度センサ10は、車両Aの走行速度を検出し、制御手段14に速度信号を出力する。

【0027】

GPS電波受信部11は、GPS用受信アンテナを備え、前記受信アンテナで受信した人工衛星からの位置情報である送信電波を高周波信号として増幅して制御手段14に供給する。

【0028】

記憶媒体12は、CD-ROM、DVD-ROMあるいはハードディスク等からなり、地図データ及び道路状況を示す道路状況データを記憶しており、前記地図データ及び前記道路状況データを制御手段14に出力する。なお、前記道路状況データは、前記道路の形状を示す道路形状データ、前記道路の所定位置における高さを示す高さデータ、前記道路の左右の傾きを示す傾きデータ、前記道路の曲率を示す曲率データ等を含むものである。

【0029】

操作手段13は、選択キー及び決定キー等の複数のスイッチを有するものであり、後述する道路形状画像及び前記道路の各種三次元情報の表示形態及び表示設定を切り換えるものである。運転者は、操作手段13を操作することによって、任意に前記道路形状画像及び前記三次元情報の表示形態を選択することができる。また、運転者は、前記表示設定として、前記道路形状画像及び前記三次元情報の表示または非表示の選択、あるいは、前記三次元情報を表示する際の各設定値等を任意に設定することができる。

【0030】

制御手段14は、マイコン15と、駆動回路16と、記憶部17からなる。マイコン15は、CPU15a、ROM15b及びRAM15cを有している。駆動回路16は、マイコン14からの制御信号を表示手段1の駆動信号に変換するものであり、表示手段1に電気的に接続されるものである。記憶部17は、EEPROMあるいはフラッシュメモリ等からなり、前記道路形状画像及び前記三次元情報の表示形態データ及び表示設定データを記憶するものである。制御手段14は、速度センサ10から出力された前記速度信号及びGPS電波受信部11から得られる車両Aの位置データに基づいて、記憶媒体12から前記地図データ及び車両A前方の道路状況を示す前記道路状況データを入力する（データマッピング処理）。また、制御手段14は、前記道路状況データに基づいて所定の演算処理を行い、記憶部17に記憶される前記表示形態データ及び前記表示設定データに基づいて前記道路形状画像及び前記三次元情報を生成し、駆動回路16を介して表示手段1の表示器2に前記駆動信号を出力して前記道路形状画像及び前記三次元情報を表示手段1に表示させる。

【0031】

次に、図4から図6に基づいて、表示手段1の表示画像について説明する。図4は、制御手段14によって表示手段1に表示され虚像Vとして運転者に認識される表示画像を示す図である。

【0032】

前記表示画像は、車両A前方の道路の形状を示す道路形状画像20と、前記道路の各種三次元情報と、道路形状画像20に応じた車両Aの位置を示す自車両指標21とを有するものである。ここでいう「三次元情報」とは車両A前方の前記道路の三次元形状に関する状況を報知する画像をいい、本実施形態においては、前記三次元情報として、高低差指標22、傾斜指標23、距離指標24、カーブ警告表示25、位置警告表示26及び速度警告表示27を表示するものである。

【0033】

道路形状画像20は、車両A前方の前記道路の幅員線を示す幅員ライン20aと前記道路の中央線を示す中央ライン20bとを有するものである。幅員ライン20aは例えば前記道路に描かれた白線を示すものであり、車両A前方の前記道路として車両Aの走行車線及び対向車線の形状を三次元的に示すものである。中央ライン20bは、前記道路に描かれた中央線あるいは前記中央線が描かれない道路にあっては前記道路の両幅員線20aの略中心線を示すものである。運転者は、幅員ライン20aと中央ライン20bとによって車両A前方の前記道路の形状を把握することができる。なお、道路形状画像20は、車両Aの走行車線のみを表示するものであってもよい。

【0034】

高低差指標22は、車両A前方の前記道路の高低差を運転者に報知するものである。すなわち車両A前方の前記道路が上り坂となっているか下り坂となっているかを報知するものである。制御手段14は、例えば前記道路状況データから得られる車両A前方の所定位置の高さと車両Aの現在位置の高さとを比較して、前記所定位置が前記現在位置と比較して設定値として記憶部17に記憶される所定の高低差よりも低くなっている場合は、図4に示すように下方に向いた矢印指標を高低差指標22として表示させ、また、前記所定位置が前記現在位置と比較して前記所定の高低差よりも高くなっている場合は、上方に向いた矢印指標を高低差指標22として表示させる。運転者は、高低差指標22によって、車両A前方の前記道路が上り坂あるいは下り坂となっていることを瞬時に認識することができる。なお、高低差指標22の表示形態は任意であり、例えば高低差を示す数字指標や道路形状画像20上に形成される着色領域であってもよい。

【0035】

傾斜指標23は、車両A前方の前記道路における左右の傾きを運転者に報知するものである。傾斜指標23は、水平線を示す水平ライン23aと道路形状画像20の傾斜に沿って表示される傾斜ライン23bとを有し、運転者は、水平ライン23aと傾斜ライン23bとを対比判読することによって車両A前方の前記道路が左右の何れに傾いているかを瞬時に認識することができる。なお、傾斜指標23の表示形態は任意であり、例えば傾きを示す数字指標を表示するものであってもよい。

【0036】

距離指標24は、車両A前方の前記道路の距離を示すものであり、道路形状画像20上に配設される複数の距離ラインによって等距離間隔を表示するものである。運転者は、距離指標24によって例えばカーブ等の車両A前方の前記道路における形状の変化が車両Aの現在位置からどの程度の距離に位置するかを瞬時に認識することができる。なお、距離指標24の表示形態は任意であり、例えば道路形状画像20上に形成される着色領域であってもよい。

【0037】

カーブ警告表示25は、車両A前方の前記道路が急カーブであることを運転者に報知するものであり、道路形状画像20に沿って表示される矢印指標25aと前記道路の曲率を示す曲率指標である数字指標25bからなる。数字指標25bは、前記道路の曲率半径を

示すものである。制御手段14は、前記道路状況データから得られる前記道路の曲率が記憶部17に記憶される所定の設定値以上あるいは前記設定値よりも大きい値である場合、すなわち前記道路の曲率半径が前記所定値以下あるいは前記所定値よりも小さい値である場合に、前記道路が急カーブであると判断し、カーブ警告表示25を表示手段1に表示させる。運転者は、カーブ警告表示25によって、車両A前方の前記道路が急カーブであることを瞬時に認識することができる。また、運転者は、前記曲率指標である数字指標25bによって、車両A前方の前記道路がどの程度のカーブであるかを瞬時に認識することができる。なお、カーブ警告表示25の表示形態は任意であり、例えば「右カーブ注意」等の文字指標を表示するものであってもよい。

【0038】

自車両指標21は、道路形状画像20に応じた車両Aの位置を示すものであり、円状指標からなる。運転者は、自車両指標21によって車両Aが実際の前記道路上のどの位置を走行しているかを瞬時に認識することができる。また、制御手段14は、例えば自車両指標21と幅員ライン20aまたは中央ライン20bとの距離が記憶部17に記憶される所定の設定値以下あるいは前記設定値よりも小さい値である場合は、自車両指標21が警告すべき位置にあると判断して、図5に示すように位置警告表示26を表示手段1に表示させる。位置警告表示26は例えば自車両指標21近傍に表示され車両Aを移動させるべき方向を示す矢印指標からなる。運転者は、位置警告表示26によって、車両Aが前記道路上の警告すべき位置にあることを瞬時に認識することができる。なお、自車両指標21の表示形態は任意であり、例えば車両形状のマーク等であってもよい。また、位置警告表示26の表示形態は任意であり、例えば自車両指標21を着色表示させるものや「走路注意」等の文字指標を表示するものであってもよい。

【0039】

また、制御手段14は、例えば車両Aの走行速度が車両A前方の前記道路の曲率に応じて記憶部17に記憶される設定値である所定速度以上あるいは前記所定速度よりも大きい値である場合は、車両Aが車両A前方の前記道路の形状に対して警告すべき速度で走行していると判断して、図6に示すように表示手段1に速度警告表示27を表示させる。速度警告表示27は、例えば運転者に減速を促す「speed down」を示す文字指標からなる。運転者は、速度警告表示27によって、車両Aが前方のカーブ等の前記道路の形状の変化に対してオーバースピードで走行していることを瞬時に認識することができる。なお、速度警告表示の表示形態は任意であり、例えば自車両指標21を着色表示させるものや減速を促すマークを表示させるものであってもよい。

【0040】

車両用ヘッドアップディスプレイ装置は、表示光Lを発する表示器2を備え、フロントガラスWに表示光Lを投影させる表示手段1と、表示手段1に、車両A前方の前記道路の形状を示す道路形状画像20と前記道路の前記三次元情報とを表示させる制御手段14とを備えてなるものである。また、道路形状画像20は、前記道路の幅員線を示す幅員ライン20aを有するものである。また、道路形状画像20は、前記道路の中央線を示す中央ライン20bを有するものである。以上の構成により、運転者は、道路形状画像20によって、天候条件、走路のカーブ、周辺車両及び建物などの影響で、実際の前記走路形状を目視しにくい場合であっても車両A前方の前記道路の形状を把握することができ、また、前記三次元情報が表示されることによって、運転者が車両A前方の前記道路の三次元形状に関する状況を瞬時に認識することができる。

【0041】

また、前記三次元情報として、前記道路の高低差を報知する高低差指標22を表示手段1に表示させることにより、運転者が車両A前方の前記道路が上り坂あるいは下り坂となっていることを瞬時に認識することができる。

【0042】

また、前記三次元情報として、前記道路における左右の傾きを報知する傾斜指標23を表示手段1に表示させることにより、運転者が車両A前方の前記道路が左右の何れに傾い

ているかを瞬時に認識することができる。

【0043】

また、前記三次元情報として、等距離間隔に道路形状画像20上に配設される複数のラインからなり、前記道路の距離を示す距離指標24を表示手段1に表示させることにより、運転者が例えばカーブ等の車両A前方の前記道路における形状の変化が車両Aの現在位置からどの程度の距離に位置するかを瞬時に認識することができる。

【0044】

また、制御手段14によって、前記道路の曲率が前記所定値以上あるいは前記所定値よりも大きい値である場合に、前記三次元情報として前記道路が急カーブであることを報知するカーブ警告表示25を表示手段1に表示させることにより、運転者が車両A前方の前記道路が急カーブであることを瞬時に認識することができる。また、制御手段14によって、前記三次元情報として前記道路の曲率をしめす前記曲率指標である数字指標25bを表示手段1に表示させることによって、運転者が車両A前方の前記道路がどの程度のカーブであることを瞬時に認識することができる。

【0045】

また、道路形状画像20に対応する車両Aの位置を示す自車指標21を表示手段1に表示させることにより、運転者が車両Aが実際の前記道路上のどの位置を走行しているかを瞬時に認識することができる。

【0046】

また、制御手段14によって、自車指標25が警告すべき位置にある場合に、前記三次元情報として、表示手段1に位置警告表示26を表示させることにより、運転者が車両Aが前記道路上の警告すべき位置にあることを瞬時に認識することができる。

【0047】

また、制御手段14によって、車両Aが車両A前方の前記道路の形状に対して警告すべき速度で走行している場合に、前記三次元情報として、表示手段1に速度警告表示27を表示させることにより、運転者が車両Aが前方のカーブ等の前記道路の形状の変化に対してオーバースピードで走行していることを瞬時に認識することができる。

【0048】

また、道路形状画像20及び前記各種三次元情報である高低差指標22、傾斜指標23、距離指標24、カーブ警告表示25、位置警告表示26及び速度警告表示27の前記表示形態及び前記表示設定を記憶する記憶部17と、前記表示形態及び前記表示設定を切り換える操作手段13と、を備えることにより、操作手段13を操作することによって、運転者が道路形状画像20及び前記三次元情報の前記表示形態及び前記表示設定を自己の好みに応じて選択することが可能となり、車両用ヘッドアップディスプレイ装置としての商品性を向上させることができる。

【0049】

なお、本発明の実施の形態においては、表示手段1によって虚像Vとして表示される前記表示画像のフロントガラスW上における表示位置については言及しなかったが、本発明の他の実施の形態として、道路形状画像20を車両A前方の実際の道路と重畳するように表示手段1に表示させるものであってもよい。かかる構成の車両用ヘッドアップディスプレイ装置においては、道路形状画像20が実際の前記道路と重畳して表示されるため、道路形状画像20と実際の前記道路とを対比判読することなく前記道路の形状を把握することが可能となるため、天候条件、走路のカーブ、周辺車両及び建物などの影響で、実際の前記走路形状を目視しにくい場合であっても、運転者はより容易に前記道路の形状を把握することができる。

【0050】

また、本発明の実施の形態においては、表示手段1からの表示光Lは、フロントガラスWに投影されるものであったが、本発明における投影部材は本実施の形態に限定されるものではなく、例えば、車両のフロントガラス上あるいは車両のダッシュボード上に配設されるコンバイナに表示器からの表示光を投影させるものであってもよい。

【図面の簡単な説明】

【0051】

【図1】本発明の実施形態である車両用ヘッドアップディスプレイ装置の表示手段の断面図。

【図2】同上実施形態である車両用ヘッドアップディスプレイ装置の概略図。

【図3】同上車両用ヘッドアップディスプレイ装置のブロック図。

【図4】同上車両用ヘッドアップディスプレイ装置の表示画像を示す図。

【図5】同上車両用ヘッドアップディスプレイ装置の表示画像を示す図。

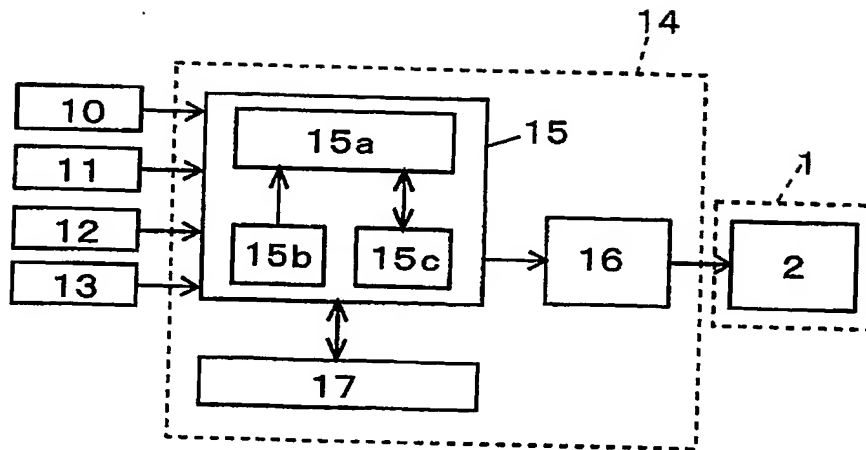
【図6】同上車両用ヘッドアップディスプレイ装置の表示画像を示す図。

【符号の説明】

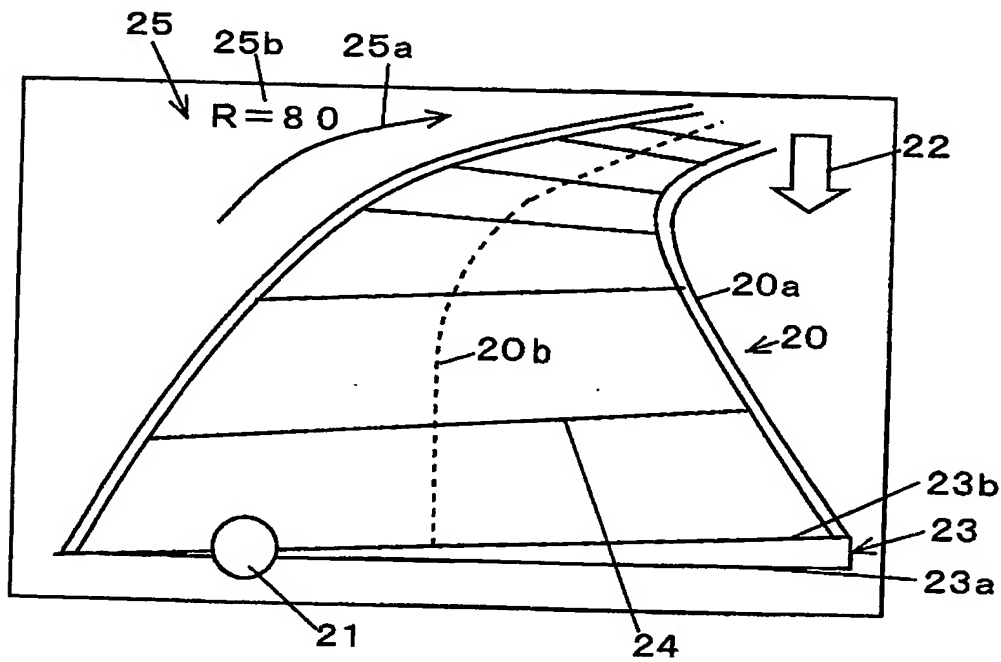
【0052】

- 1 表示手段
- 2 表示器
- 13 制御手段
- 20 道路形状画像
- 20a 幅員ライン
- 20b 中央ライン
- 21 自車両指標
- 22 高低差指標
- 23 傾斜指標
- 23a 水平ライン
- 23b 傾斜ライン
- 24 距離指標
- 25 カーブ警告表示
- 25a 矢印指標
- 25b 数字指標（曲率指標）
- 26 位置警告表示
- 27 速度警告表示

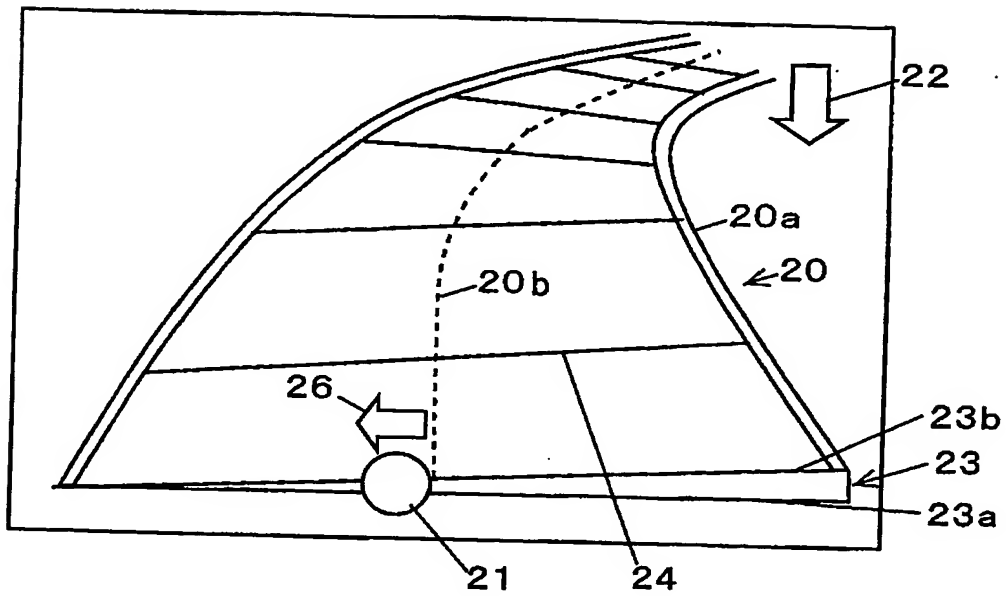
【図 3】



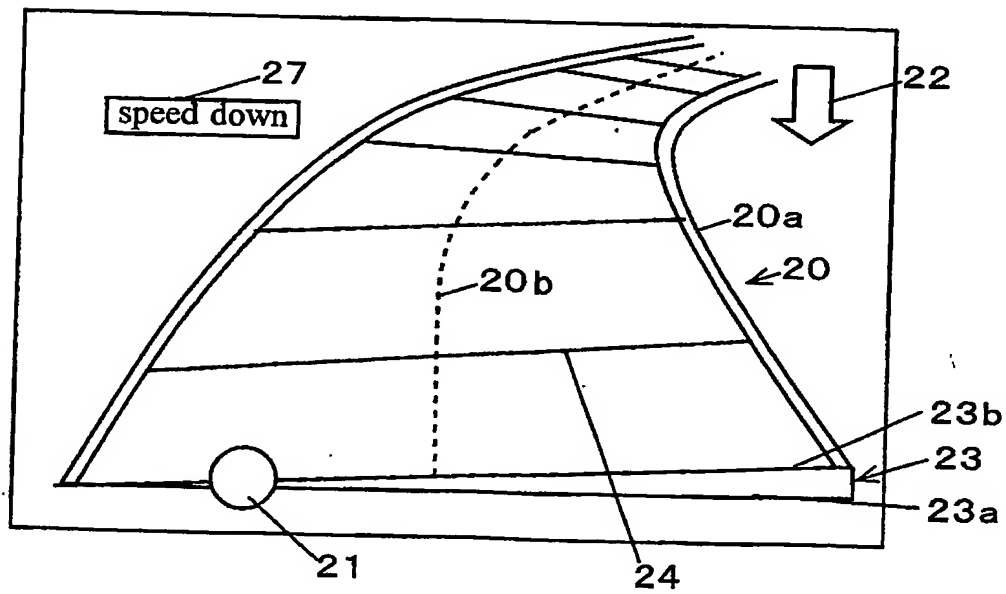
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】 運転者が車両前方の道路の形状及び前記道路の状況を瞬時に認識することが可能な車両用表示装置を提供する。

【解決手段】 車両用表示装置（車両用ヘッドアップディスプレイ装置）は、表示光を発する表示器 2 を備え、投影部材に表示光 L を投影させる表示手段 1 を備える。表示手段 1 に、車両前方の道路の形状を示す道路形状画像と前記道路の三次元情報とを表示させる制御手段 1 4 を備える。前記三次元情報として、前記道路の高低差を報知する高低差指標を前記表示手段に表示させてなる。

【選択図】 図 3

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 3 6 1 1 3 3
受付番号	5 0 3 0 1 7 4 6 9 2 7
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0 0 9 2
作成日	平成 1 5 年 1 0 月 2 2 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成15年10月21日

特願 2 0 0 3 - 3 6 1 1 3 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 2 3 1 5 1 2]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

新潟県長岡市東蔵王 2 丁目 2 番 3 4 号

氏 名

日本精機株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.